

第6回学校適正規模・適正配置審議会 全体討議会議録

- 1 期 日 令和5年5月19日（金）午後8時05分から午後8時45分
 2 場 所 庄内町役場 B棟 会議室2
 3 出席者 河村竹宏、門脇伸、丸屋恭子、齋藤正典、佐藤義徳、佐藤一典、佐藤彰、佐藤 一
 富樫豊一、菅原弘昭、菅原由香里
 4 内 容

(グループ討議内容発表)	
富山指導主事 (第1グループ)	<p>学校に望むことについては、(2)以降の内容が決まらないと(1)の結論が出ないということで、学級数、学校規模を重点に話し合いました。小学校について、学級数は、アンケート結果を踏まえても複数学級が望ましい。場合によっては、地区の状況により1学級も考えられるのではないかという結論でした。続いて、小学校の通学時間は、30分くらいであれば了解できるのではないかなという意見が出ました。学校数については、学校数を減らして重点的に投資するという方向でどうだろうかということで、特に安全性という観点から、1小、2小、3小を重点的に建て替えながらということで、ただ、20年後、30年後として考えるわけですが、未来の視点と今の現在の子どもたちの教育という視点も両方含めて考えていくと、話も段階的に議論していかないといけないのではないかということで、段階的に話を進めるということを付帯意見としてどうかということが出ました。中学校については、学級数、学校数についてですが、アンケート結果でも4学級以上が望ましいが一番多かったのですが、理想としては1校だろうが、通学時間とか町の財政的なことも含めるとなかなか判断が難しいので、慎重な判断が必要だということにとどまりました。</p>
齋藤指導主事 (第2グループ)	<p>(1)の学校環境、教育活動の場として望むことについては、ゆとりある広さの教室環境が必要だろうということが出ました。あとは、遊具等も含めて運動等に取り組めるような環境、安全面ということで更衣室等の環境整備も必要ではないかということ、ICTについては、タブレットがあるのでコンピューター室というようなハード面ではなく、通信環境が整っていればいいのではないかとということでソフト面の整備も大切だという意見も出ました。将来を見据えて今の教室環境にとらわれない、いろいろな学びができる多様な教室環境が必要ではないかということが出ました。教育活動の場としては、切磋琢磨できることや自分の考えとは違う考えに触れるというのが大きな成長につながるのではないかということが出ました。次に学級数について、一クラスの良さもあるという話も出たのですが、基本的には複数学級ということで、小学校も中学校も2、3学級あった方がよいということが出ました。クラス対抗で切磋琢磨したり、クラス替えにより人間関係が変わっていくということが大切ではないかという話になりました。次に通学時間については、第2グループにおいては具体的に何分以内という話にはならなかったのですが、アンケートの中で立谷沢</p>

	<p>の方が統合を考えている割合が多いということで、スクールバスの登下校で遠くても慣れればさほど気にならないのではないかというふうになりました。ただ、通学についてはスクールバスが使えるが部活の夜練習の送迎とか、通学以外の面では少し大変になることがあるかもしれないということやトイレの確保などは必要だろうという意見も出ました。最後に学校の規模ですけれども、小学校の方は、学校対抗もできることから2校あった方がいいのではないかということになりましたが、現在の出生数なども踏まえて、15年後ということを考えて1校ということも考えていかなければいけないのではないかという話になりました。また、中学校については1校という意見が多かったです。学校については、どちらも学校数を減らして重点的に投資して建て替えということで、新しい学校、魅力的な学校を整備することが大切だということになりました。全体的に将来の子どもたちことを考えて、学校のことを考えていくことが大事だということにまとまりました。</p>
A	<p>今、1グループと2グループの報告を伺って、これをさらに一つにまとめるとするのは、非常に大変だなということを感じております。今日の時間、8時30分くらいを目途にというふうに聞いていましたので、その時間の中でどれくらい詰めることができるかなということですが、ご協力をお願いします。</p> <p>かなりリンクするところがあつたように思いますので、適正規模、適正配置、それから条件とリンクするところがいっぱいあつたので、まずは小学校に関してということで、基本的に共通するところとしては複数学級が望ましいだろう。これは共通する部分ではなかったのかなと思います。異なる部分としては、場合によっては、地区の状況等を考えたときに1学級も考えられるのではないかという意見が1グループから出ました。2グループからは複数学級となればということまで出てきています。1、2校が望ましいということだったかと思います。</p> <p>通学時間、適正配置の部分については、1グループは30分くらいが許容範囲だろうということだけでも、2グループからは距離よりも学習環境が大事ではないのかという、この辺が異なつた部分なのかなと思います。1グループの方からも学校数としては、安全な環境を維持することが既に難しい学校については重点的に建て替える対象になるだろうということで、1小、2小、3小はその対象になるだろう。ただ、四小と立小については具体的などころまで詰めることはできませんでしたが、段階を迫いながら検討を重ねていく必要があるのではないのかという意見だったと思います。どちらについても、重点的建て替えが必要だという部分については共通な認識であつたと思つたところです。</p> <p>小学校について、そういったところだつたのではないかな。この場で両方のグループの意見を受けて、小学校の部分についてご発言をいただければありがたいです。</p>
B	<p>質問していいですか。1小、2小、3小がかなり老朽化しているということで</p>

	重点的に建て替えて段階的進めるというのは、日本語だから読めるがイメージがわからない。
A	1グループから出たのは、1小、2小、3小については老朽化が進んでいる、安全の確保が難しいということで、そこは重点建て替え校になるだろう。他の部分の四小、立小については段階的にもう少し検討の余地があるのではないかとということだったかと思います。
B	校舎の老朽化で段階的に建て替えていこうということと、これだけ子どもが少なくなってきた、適正な学校の配置を考えようということと一緒に考えると話にならないような気がする。具体的に、1小、2小、3小、1校ずつ改修していくということですか。
A	いいえ、重点建て替え校というのは一緒になるというイメージだと思います。1小、2小、3小は一つ。
B	一緒になるということですね。それであればイメージがわきました。
B	今の1小、2小、3小を一緒にするという、先ほどもちらっと言いましたが、四小と立小は変わらない。
A	そこは結論が出ませんでした。その部分は段階的に考えていく必要があるだろうという意見にとどまりました。
B	いろんな軸があると思いますが、両方で同じなのはクラス替えがあればいいということが共通であったが、1小、2小、3小を一つにしてしまうと人数だけ見ても令和11年、3学級の学校としてなるが、四小、立小は単学級ということですよ。そう考えると、1小、2小、3小を建て替えて、じゃあこっちはと考えるのではなくて、思い切って2校なりにして、両方ともクラス替えができる程度の人数にして切磋琢磨できる、また、2つの学校が競え合える環境をつくっていくのが子どもにとってはいいのかなとは思いますが。
C	付け加えて、魅力のある学校など施策の関係で出たわけです。今の教室が狭いとかそういう話から発して。新しく建て替える場合は、魅力ある学校を建てるとそこにみんな通いたくなるはずなので、残されるとなると子どもも保護者も不公平感が出てくるのではないかと。どうせであれば、魅力のある学校をつくって、2校であれば新しく2校つくってというふうなことがいいのかなと思います。
A	先を考えると1校という選択肢もあったけれども、2校という選択肢もあるのではないかと意見ですね。
C	先のことを考えると1校もありなのかなという話は2グループの中では出ました。子どもたちが理想とする学習環境となれば、他の地区からも来るんじゃないかと、そういう魅力ある学校をつくった方がいいのではないかと。20、30年もすると1校もありなのではないかという話もでたのですけども。

A	<p>どうでしょうか。他の意見はありませんか。</p> <p>2校という選択肢の場合は、学区編成を伴わない2校という理解か、学区編成を伴う2校という理解、どちらか。</p>
B	学区編成を伴うでしょう。
A	1グループでは果たして学区編成をしてまでどうだろうかという意見もあったように思います。
C	今は、行政の中では余目、立川というイメージはないんじゃないかと思います。そうすれば、子どもたちも同じように。以前は余目でも英断で余目小学校を分けたわけです。同じように、今の時期で英断してもいいのではないかと。
A	町内1校であれば、学区の再編はなくなるわけですが、2校といった場合は学区編成を伴う2校という。そうしますと、仮に2校という場合には、ある程度児童数のバランスもとるとのことですよね。そうしますと、適正配置の部分も当然話題となる。1校とした場合もそうなんですけどね。1グループの方々いかがですか。
D	小学校については、私個人としては、学校数は2校くらいで、学区編成もありだと思えます。感情の部分をお話すると、私は1学区ですが、子どものスポ少の関係で立川と交流もありますし、四小の子どももいますし、そういう環境だが、子どもにとっては、立川だとか余目だとかまったく関係ないですね。小学校で分けていない。みんなこの出身だろうが仲良くして、とてもいい関係だと思っていて、これから多様性とかいわれているように、学区についてどこでどうだとか一旦考え直して、学区編成もありきで考えていった方がいいのではないかと。
E	20年後、30年後を考えた場合には小学校も中学校も1校の方がいいのかもしれない。これから子どもの数がどう上下していくのかわかりませんが、グループの話の中にもですね、我々が学校適正規模・適正配置を考えているんですけども、もう少し若者たちが、もしくは子どもを持つ世代が庄内町に転居してくる。そういう方向性がない限り人口は増えていかない。むしろ、じり貧になって鶴岡か酒田と一緒にいってしまう。そういう方向だろうと思います。それを考えたら、小学校も中学校も1校にすれば、新しい校舎で、みんな一斉に同じ場所で教育ができる。ただ、今、日本の教育現場で教員不足ということで、たぶん中学校の先生のご苦労があまりにも多いということがあるのかと思いますが、そうすれば、1校であれば、みんな同じ場所だと。ただ問題は1校の場合どこに建てるか。会長の方で、1小、2小、3小は安全性の面で問題があると、第一優先で建て替えなり新築なりすべきだという話がありましたけども、あまり目先のことを考えないで、先のことを考えたら、小学校も中学校も1校という考え方が、ひょっとしたらあるのではないかと考えています。私は4学

	<p>区の代表で来てるわけですけども、4学区がどうのこうのということで随分話をしましたが、小学校であれば、地域と学校の関連を無視して、学校は保護者と教員だけでというわけにはいかない。それも一つになれば全部一緒であると、極論でいえばそういう方向性も考えられると思っています。</p>
A	<p>いろいろご意見あるわけですけども、この会としてのある一定の方向性を示していかなければいけないので、ご意見をいただいた部分では、1校ないしは2校が望ましいだろう。さらに2校という場合には、学区の再編も視野に入れながら考えていくべきだろうというところが大筋の意見ではなかったかなと私はとったのですが、その方向でまとめさせていただいてよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>
A	<p>続いて、時間経過するんですが、ご理解とご協力をいただいて、もう20分くらいいただけるとありがたいのですが、委員の皆さんよろしいですか。</p> <p>中学校の方になります。これについては理想としては1グループの方は、適正規模、適正配置どちらもクリアするのであれば、現余目中学校ではなく、別の場所に新校舎を建てて両方ともクリアすべきというような意見が出ました。2グループについても、やはり1校が望ましいだろう。クラス替えであるとか複数学級であるとか、ここは1グループと共通する部分なのかなと思います。ただ、1グループの方では適正配置を考えた場合に、現余目中学校を継続して利用していくという前提だとどうなのかなという意見が強かったように思います。その場合、財政的に町として可能か。そうすると小学校、中学校両方新築で対応を考えてた場合に財源的に大丈夫なのかなというところもあったように思いました。財源が許すのであれば、適正規模・適正配置両方クリアして新校舎ということになるのですが、この審議会でその方向性でよろしいですか。ご意見をいただきたいと思います。</p>
C	<p>2グループでは、具体的に今の余目中学校をそのまま利用してなどまでは話していないが、校数は1校ということは出ました。立川地区の人から、多少通学時間がかかっても慣れるものだ。最初は大変だったと、でも今はそんなに、スクールバスに慣れて、それが例えば10分余計かかった、10分、20分であればたいしたことないと、子どもたちは慣れるという話は出ましたけども。途中トイレなどの工夫は必要だということも出ました。</p>
A	<p>2グループの方は、新しい校舎云々ということにはならずということですよ。1グループの方は、適正規模と適正配置が両方成り立つためには、やはり、立川地区の通学の時間に配慮する必要があるだろう。そうすると現余目中学校の位置ではいかがなものか、新しい場所に学校を構えるという配慮が必要なのではないかという。</p>
F	<p>財政のことまで考えて話をしていなかったもので、その視点を省いての考え方で基本的には新校舎で、場所については今後の検討とと思っていましたが、財政的</p>

	な話があるとすれば難しいのかな。財政的な枠がここまであってということがあるのであれば、話が変わってくると思います。
A	以前の資料で、こうなるとこのくらいの予算でというのが出されていましたが、なかなかそこまで考えがいかなくてということはあると思います。
F	何を優先して考えればいいのか、難しかったかなと思います。
B	確かにお金は大切だと思いますが、ただ、お金のことを一番最初に考えてしまうと、例えば、今、来年新しい中学校をつくろうとなった場合、実際、行政の動きは、いろいろあって5年くらいかかるでしょ。そう考えますと、令和10年、立川中学校63名なんです。そうすると、Gさん、先生方の数とかも大変になりますよね。想像でしか話ができないんですけども。
G	正式には7人ですかね。
A	特別支援学級がどうかということが、小規模校の場合は非常に大きいので。
B	そう考えると、5年待ってこのままいったときに、明らかに立川中学校の子どもたちに、同じ庄内町の中学校で平等な、すべて100%平等な学校教育はないのかと思いますが、負担がかかると考えると、財布を考えながら、1小、2小、3小の安全面も心配なんですけども、子どもの数の減り方からすると中学校が何とか、先にしなければいけないのかなと私は思いました。プラスアルファ、並行して小学校も新校舎も建ててもらえるのが一番ありがたいが、そんな調子のいい話はないと思うんで。子どもの数の減り方からするとそんなことを思いました。
A	ご意見として、中学校の方は1校。ただし、財源との絡みで従来の校舎を活用するのか、あるいは、新しい校舎を新設するのかというところは、これからの検討の余地があるというところでしょうか。財源のところまで及ばないで考えたところもあったというご意見もあったので、そのような形で中学校の方、まとめさせていただいてよろしいでしょうか。 今日の議論の大筋のまとめは出来たと思います。あと、付帯意見については、それぞれいろいろな意見が出ていたと思いますので、まとめていただいて精査をしていけばいいのかなと思ったところです。 それでは、ここで各グループでの審議会としてのまとめ方については終わらせていただいてよろしいでしょうか。 先ほど、課長より答申書について説明がありましたが、これについてのご質問、ご意見等ございませんか。今日見て、すぐとはなかなか難しい部分があると思うんですけども、現時点で、わからない箇所、ご要望がありましたら出していただければと思います。 かなり、踏み込んだ意見が出されたのかと思ったところでした。 それでは、気づいた時点で問い合わせいただくということで、素案に今日話し

	<p>合いで出されたことを組み込んでもらって、次回に（案）として出させていた だきたいと思います。その時点でもう一度、細部を見させていただければとい うことで、大筋の基本的な方向性は固まったのかなというふうに思ったところ です。よろしいでしょうか。これで協議の方を閉じさせていただきます。</p>
	<p>(20 : 45 終了)</p>